(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2021 年 6月 3日

愛知県知事殿

提出者

住所 愛知県尾張旭市大塚町 2-13-12 氏名 大林道路株式会社 尾張営業所 所長 山田 陽一 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-771-8407

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

C 1/C 1 1/4 / D F F C	17,940,100
事業場の名 称	大林道路株式会社 尾張営業所
事業場の所在 地	愛知県尾張旭市大塚町 2-13-12
計画期 間	2021 年4月1日~ 2022 年3月 31 日
当該事業場において現に行	亍っている事業に関する事項
①事業の種 類	06 総合工事業
②事業の規 模	元請完成工事高 43,500 万円
③従業員 数	26 名
④産業廃棄物の一連	産業廃棄物の発生抑制に努め、営業所及び現場内において分別ごみ
の処理の工程	箱(可燃物、不燃物、金属等)を設置し分別を徹底する。
	現場より発生する廃棄物は、その収集運搬・処分の許可を得た業者
	に委託し処理する。廃棄物処理の確認は、建設業廃棄物管理表(マ
	ニフェスト:建設九団体副産物対策協議会発行)または電子マニフ
	ェストにより確認し、その記録を保管する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者:大林道路㈱中部支店 執行役員支店長

廃棄物担当部署:安全品質環境部 人員数3名

廃棄物処理責任者:各工事現場代理人

本店 安全品質環境部

 \downarrow

中部支店 支店長

中部支店 安全品質環境部

産業廃棄物処理責任者

業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度(2020 年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり							
	排出量	計 1108.63 t							
	(これまでに実施し	た取組)							
	IS014001 に基づい	た環境保全活動を効率的に推進することを目的							
	とした環境マネジメントシステムを構築し、維持するために環境マ								
	ニュアルを定めている。環境目的・目標を達成するために環境マネ								
	ジメントを策定している。摘要に関しては、各人の役割に責任及び								
	権限を定めている。								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり							
	排出 量	計 1,023.00 t							
	(今後実施する予定の取組)								
	コンクリート構造物取壊し及びアスファルト舗装版を撤去した際に								
	発生する建設廃棄物は、再資源化施設と連携し再資源化を徹底す								
	る。								
	再資源化が完了した際は、再資源完了報告書を発注者へ提出する。								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	アスガラ・コンガラ等分別後再処理施設へ搬入。
	(人分人口11上フマウの女米球をお貼の好変サッパハロ)を用上フでも1
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も再資源化への取り組みを継続する。

	(第	(3面)		
う行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った		t	t
	産業廃棄物の量			
	(これまでに実施し	た取組)		
			t.	t
			-	
		 の取組)		
	-L-BB/B-MB)			
			☆◆*▼	
①現状		年度 <i>)</i> 	美領 】 ————————————————————————————————————	T
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った		t	t
	産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量した		t	t
	産業廃棄物の量			
	(これまでに実施し	た取組)		
②計画	【目標】			
	①現状 ②計画 ②計画 ①現状	①現状 【前年度(産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施し ②計画 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定 ①現状 【前年度(産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら神助理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施し	 ①現状 【前年度(産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) ②計画 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) ○分後実施する予定の取組) ○行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 ①現状 【前年度(年度) 産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 にれまでに実施した取組) 	① 現状

産業廃棄物の種類								
自ら熱回収を行う	t	t						
産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量する	t	t						
産業廃棄物の量								
(今後実施する予定	(今後実施する予定の取組)							
 (Febr.	4 素)							

(第4面)

	(4 川)	
自ら行う産業廃棄物の埋	型立処分又は海洋投入処分	に関する事項	
①現状	【前年度(年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は	t	t
	海洋投入処分を行った		
	産業廃棄物の量		
	(これまでに実施し	た取組)	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は	t	t
	海洋投入処分を行う		
	産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定	の取組)	
★₩₩₩ ₩₩₩₩			
産業廃棄物の処理の委託	1		
①現状	【前年度(2020	0 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	全処理委託 量	計 1,108.63 t	t
	優良認定処理業者へ	t	t
	0		
	処理委託 量		

	再生利用業者へ	計	1, 108. 63	t	t
	Ø				
	処理委託 量				
	認定熱回収業者へ			t	t
	の処理委託 量				
	認定熱回収業者以外			t	t
	の熱回収を行う業者				
	への処理委託 量				
	(これまでに実施し	た取組)			

(第5面)

②計画	【目標】				
,	産業廃棄物の種類	別	紙②のとおり)	
	全処理委託量	計	1, 023. 00	t	t
	優良認定処理業者への処			t	t
	理委託 量				
	再生利用業者への	計	1, 023. 00	t	t
	処理委託 量				
	認定熱回収業者への			t	t
	処理委託 量				
	認定熱回収業者以外の熱			t	t
	回収を行う業者への処				
	理委託 量				
	(今後実施する予定	の取組))		

※事務処理欄	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄な	産業廃棄物の排出の抑制に関する											
	【前年度	【前年度 (2020 年度) 実績】										
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類: コンクリート ガラ	がれき類: アスファルト ガラ	がれき類: 工作物の 新築、改築 又は除去 に伴って生 じた不要物	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶 磁器くず	汚泥	廃プラ類	紙くず	木くず	金属くず	建設混合廃棄物	計
	排出量	219.40t	474.44t	0.00t	0.00t	26.73t	16.10t	0.15t	336.05t	1.70t	34.06t	1108.63t
	【目標】											
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリート ガラ	アスファルト ガラ	がれき類: 工作物の 新築、改築 又は除去 に伴って生 じた不要物	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶 磁器くず	汚泥	廃プラ類	紙くず	木くず	金属くず	建設混合廃棄物	計
	排出量	200.00t	450.00t	0.00t	0.00t	30.00t	10.00t	1.00t	300.00t	2.00t	30.00t	1023.00t

別紙②

産業廃棄	産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
	【前年度 (2020 年度) 実績】											
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類: コンクリート ガラ	がれき類: アスファルト ガラ	がれき類: 工作物の 新築、改築 又は除去 に伴って生 じた不要物	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶 磁器くず	汚泥	廃プラ類	紙くず	木くず	金属くず	建設混合廃棄物	#
	全処理委託量	219.40t	474.44t	0.00t	0.00t	26.73t	16.10t	0.15t	336.05t	1.70t	34.06t	1108.63t
	再生利用業者への処理委託量	219.40t	474.44t	0.00t	0.00t	26.73t	16.10t	0.15t	336.05t	1.70t	34.06t	1108.63t
	【目標】											
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルト ガラ	がれき類: 工作物の 新築、改築 又は除去 に伴って生 じた不要物	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶 磁器くず	汚泥	廃プラ類	紙くず	木くず	金属くず	建設混合廃棄物	# <u></u>
	全処理委託量	200.00t	450.00t	0.00t	0.00t	30.00t	10.00t	1.00t	300.00t	2.00t	30.00t	1023.00t
	再生利用業者への処理委託量	200.00t	450.00t	0.00t	0.00t	30.00t	10.00t	1.00t	300.00t	2.00t	30.00t	1023.00t